資　料　５－１

道路事業 再評価
東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～宮守）

平成２２年１０月２６日
国土交通省　東北地方整備局

事業採択後５年経過

事業名	東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～宮守）	事業種別	新直轄

事業の目的

東北横断自動車道釜石秋田線は釜石市を起点として、遠野市、奥州市を経由して東北縦貫自動車道に合流し、秋田市に至る総延長212kmの高速自動車国道である。

遠野～宮守区間は、重要港湾である釜石港、豊富な観光資源、先端技術産業の集積が著しい北上中部地方拠点都市地域や花巻空港及び医療施設間等を有機的に連結する重要な区間であり、円滑且つ迅速な交通の確保、交通安全の確保、信頼性の向上等を目的とした事業である。

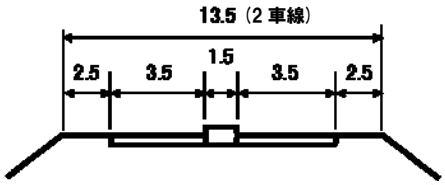
事業の概要

起終点	自：岩手県遠野市綾織町新里 至：岩手県遠野市宮守町下鱒沢		延　長 供用済	９．０km －km
道路規格	１種３級、設計速度80km/h		幅　員	W=13.5m
事業化	平成15年度	都市計画決定	平成８年度	
用地着手	平成19年度	工事着手	平成19年度	

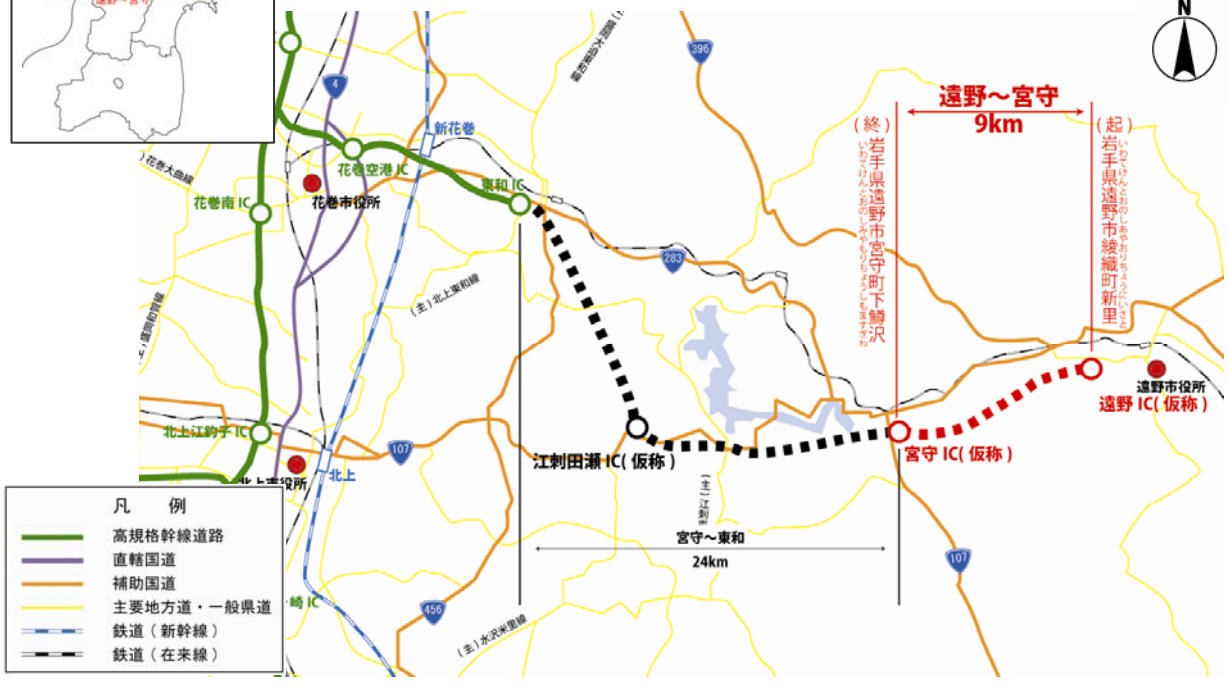
	全体事業費・進捗率			H15新規採択時 全体事業費 （うち用地費）
	全体事業費 （うち用地費）	執行済み額 （うち用地費）	全体進捗率 （用地費）	
完　成	237億円(8億円)	77億円(8億円)	32%(95%)	237億円(8億円)



【標準横断面】



[単位：m]



事業の概要

整備状況・供用区間状況

遠野(とおの)～宮守(みやもり)間整備状況
終点側から起点方向を望む



遠野～宮守間整備状況
宮守 IC 付近

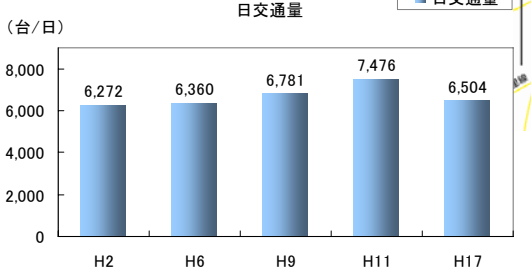


現道(国道 283 号)の道路交通状況









▲国道 283 号(宮守町荒谷前(みやもりちょうあらやまえ))の日交通量の推移

資料:各年道路交通センサス(H2～H17)

事業の概要

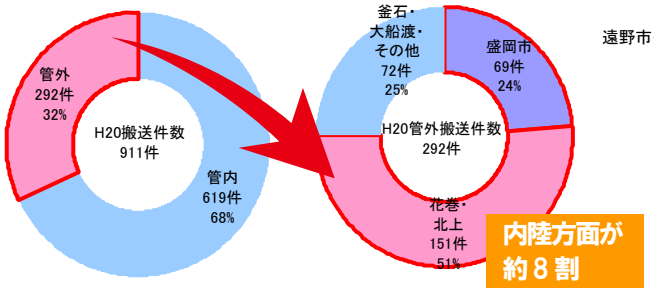
地域の課題と整備目標（1／2）

１．地域の課題

①救急医療施設へのアクセス

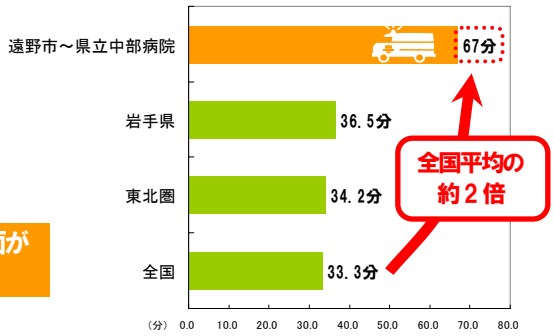
・遠野（とおの）地域では２次救急医療施設の県立遠野病院があるものの、診療科が限られるため、救急搬送の約３割が管外に搬送されている。

・管外搬送のうち、内陸方面への搬送が約８割を占めるが、搬送の所要時間が長いことが課題。



▲救急搬送先別割合

資料：遠野市消防本部資料「救急概況速報」



▲収容所要時間の比較

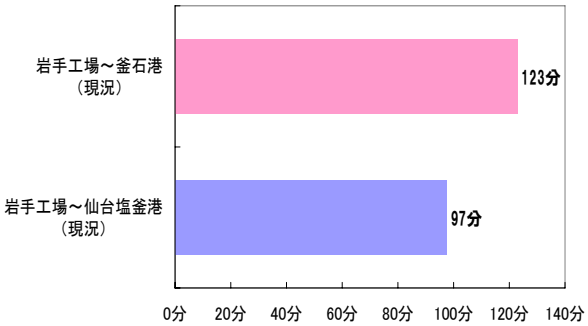
資料：救急・救助の現況(総務省消防庁)(H18～H20)
平成 17 年道路交通センサス

②県内港湾の利用促進

・「岩手県港湾ビジョン」（平成 14 年 9 月岩手県）では 2020 年までに、県外港湾を利用している貨物の 50%以上を県内港湾利用に転換させる目標。

・県内の製造業が集積している北上（きたかみ）、金ケ崎（かねがさき）地域から主要港湾への所要時間は、釜石（かまいし）港より仙台塩釜（せんだいしおがま）港の方が短いため、製品の積み出しは県外港湾利用が主となっている。

・釜石港の利用を促進させることが課題。



▲大手自動車組立工場岩手工場から
主要港湾までの所要時間

資料：平成 17 年道路交通センサス



▲大手自動車組立工場岩手工場における
自動車積み出し台数の港湾分担率

資料：平成 22 年ヒアリング調査

事業の概要

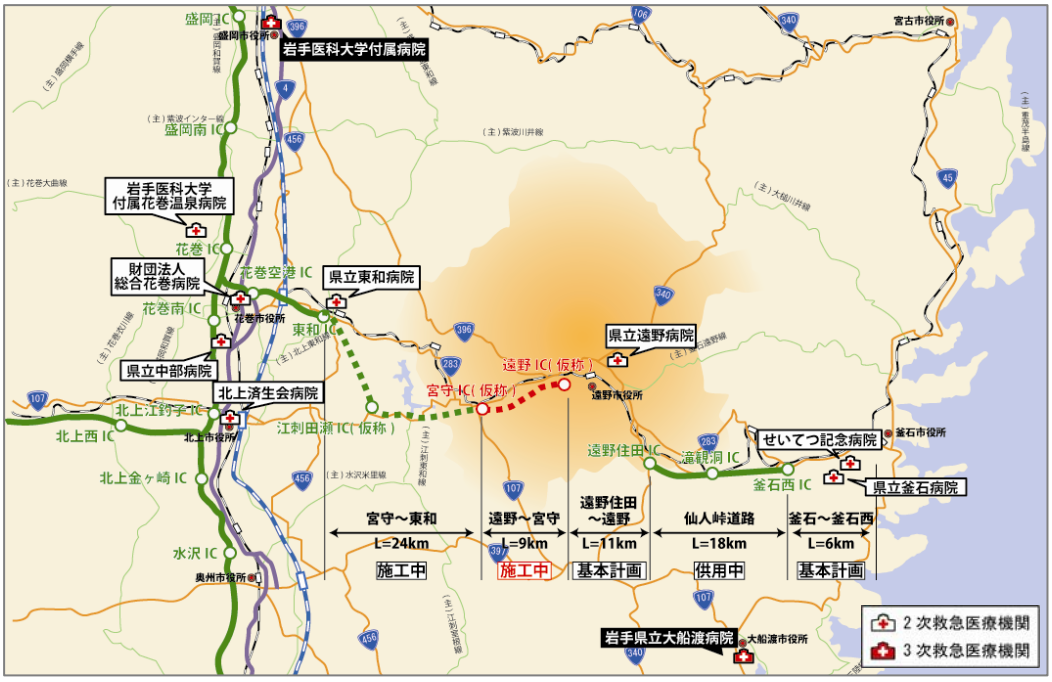
地域の課題と整備目標（２／２）

２．原因分析

①救急医療施設への高速道路ネットワークが未整備

・遠野市内で対応困難な救急医療は周辺市町村の２次医療施設や、盛岡、大船渡の３次救急医療施設に依存せざるを得ない状況。

・遠野市から救急医療施設へアクセスする高速道路ネットワークが未整備であるため、急カーブ、急勾配の多い国道 283 号を利用せざるを得ない状況。



▲遠野市周辺の救急医療施設と高速道路ネットワークの整備状況

②広域的な高速道路ネットワークが未整備

・釜石港と内陸工業団地を結ぶ横断方向の高速道路ネットワークが未整備。



▲北上・金ケ崎に集中する工業団地と釜石港までの高速道路ネットワーク整備状況

３．整備目標

①救急医療施設へのアクセス性の向上

②県内港湾利用を促進し、物流効率化を支援するネットワークの形成

事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（１／６）

1. 救急医療の支援

・遠野（とおの）～宮守（みやもり）間の整備により県立遠野病院の診療科目を補う県立中部病院（北上（きたかみ）市）や岩手医大附属病院（盛岡（もりおか）市）までの搬送時間が短縮され、搬送患者への負担軽減が期待できる。

・遠野市における県立中部病院（北上市）の 60 分カバー圏域が拡大し、カバー人口は現況の約 3.3 倍となる。

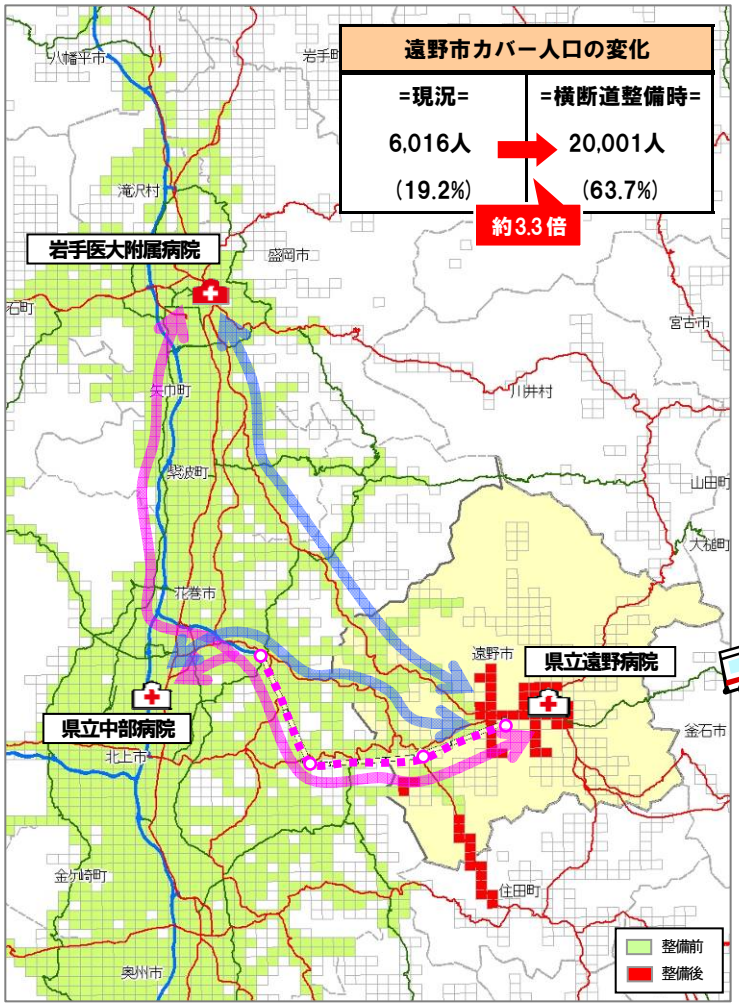
・また、救急車両を運転するドライバーの心的負担軽減にも寄与することが期待できる。

▼医療施設 診療科目

○：常勤医師による診療
▲：応援医師による隔日診療

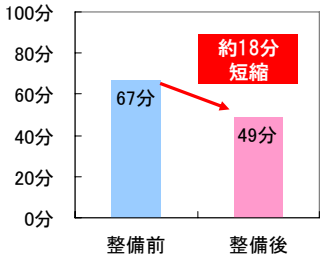
		消化器・肝臓内科	心血管内科	腎内科	内分泌内科	呼吸器内科	循環器内科	アレルギー内科	膠原病内科	神経内科・老年科	糖尿病・代謝内科	血液・腫瘍内科	外科	脳神経外科	呼吸器外科	整形外科	形成外科	※産婦人科	小児科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	放射線科	精神神経科	麻酔科	救急外来	救命救急センター	緩和ケア科	臨床検査科	病理診断科	睡眠医療科	心臓血管外科	循環器小児科	循環器放射線科	循環器麻酔科
岩手県立遠野病院(2次救急)	遠野市	○		▲			▲					▲	○	○		○		▲	○	○	▲	▲				○									
岩手県立中部病院(2次救急)	北上市	○			○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○							
岩手県立大船渡病院(3次救急)	大船渡市	○				○	○	○	○	▲			○	○		○	○	○	○	▲	○	▲	○	○	○	○	○	○							
岩手医科大学附属病院(3次救急)	盛岡市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※県立遠野病院では分娩を扱う医師が不在

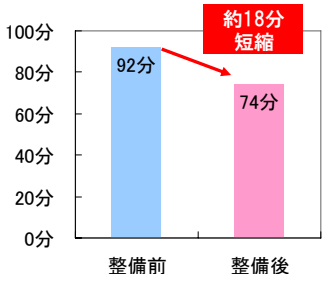


▲県立中部病院からの 60 分カバー圏域の変化

資料：H17 道路交通センサスピーク時旅行速度を基に算出



▲県立中部病院までの所要時間



▲岩手医大附属病院までの所要時間



遠野市消防本部 職員の声

東北横断道が遠野 IC まで開通すると、**搬送時間が短縮**され、**搬送患者にかかる負担が軽減**されます。また救急車両を運転する職員は、一般道を通行する際、**交差点や対向車等に大変気を使います**。東北横断道を通行することで、その**負担軽減が期待**されます。

資料：遠野市消防本部へのヒアリング調査

事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（２／６）

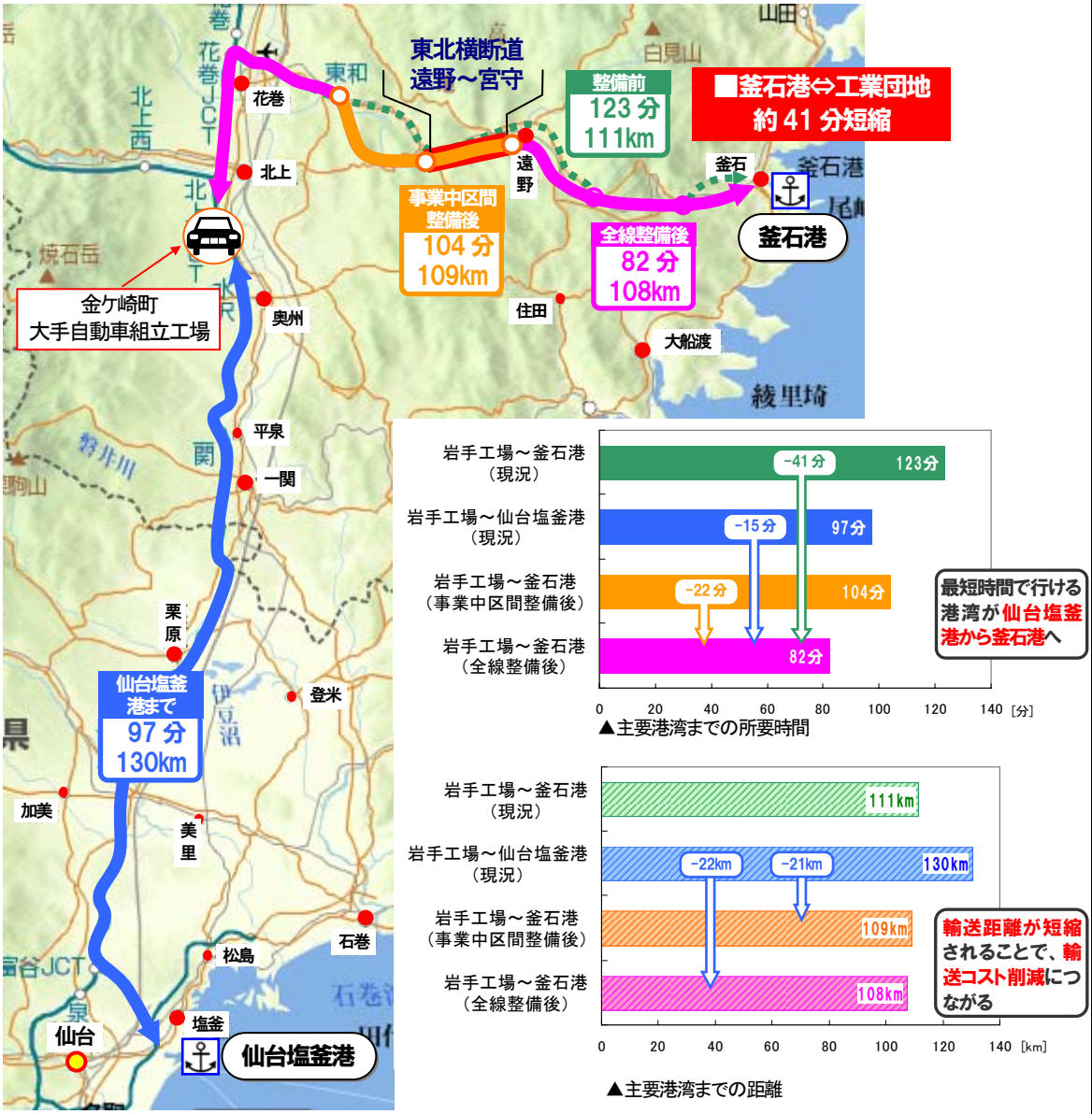
2. 物流効率化による産業支援と県内港湾の利用促進

・岩手県内陸地域は県内屈指の産業拠点であり、特に金ケ崎町には多くの自動車組立工場が集積している。

・釜石港と内陸工業団地を結ぶ横断方向の高速道路ネットワークが未整備のため、金ケ崎町で生産された自動車の多くは仙台塩釜港から積み出しされている。

・東北横断自動車道の整備により、釜石港までの所要時間が約 41 分短縮され、また、輸送距離も短縮されることから、仙台塩釜港利用より有利になる。

・県内港湾利便性の向上により、県内港湾を活用した物流効率化による産業振興が期待できる。



▲金ケ崎町大手自動車組立工場岩手工場から主要港湾までの所要時間・輸送距離

資料：平成 17 年道路交通センサス

事業の必要性等に関する視点

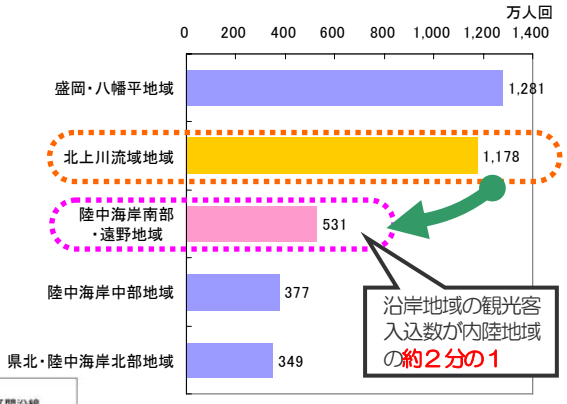
事業を巡る社会経済情勢等の変化（３／６）

3. 観光産業の活性化

・岩手県内には自然、歴史、文化など地域の特性や魅力を兼備えた観光地が多数存在。
・内陸地域の観光入込数に対し沿岸地域の観光入込客数は半数以下。
・遠野（とおの）～宮守（みやもり）間の整備により沿岸地域へのアクセス性が向上し、また冬期間も安心して通行可能となり、内陸地域から沿岸地域にかけて新たな周遊観光コースの提案や冬の観光を楽しむことができるなど観光産業の活性化が期待できる。



▲高規格道路網整備状況と岩手県内主要観光地



▲地域観光客入込数

資料：H20 岩手県観光統計

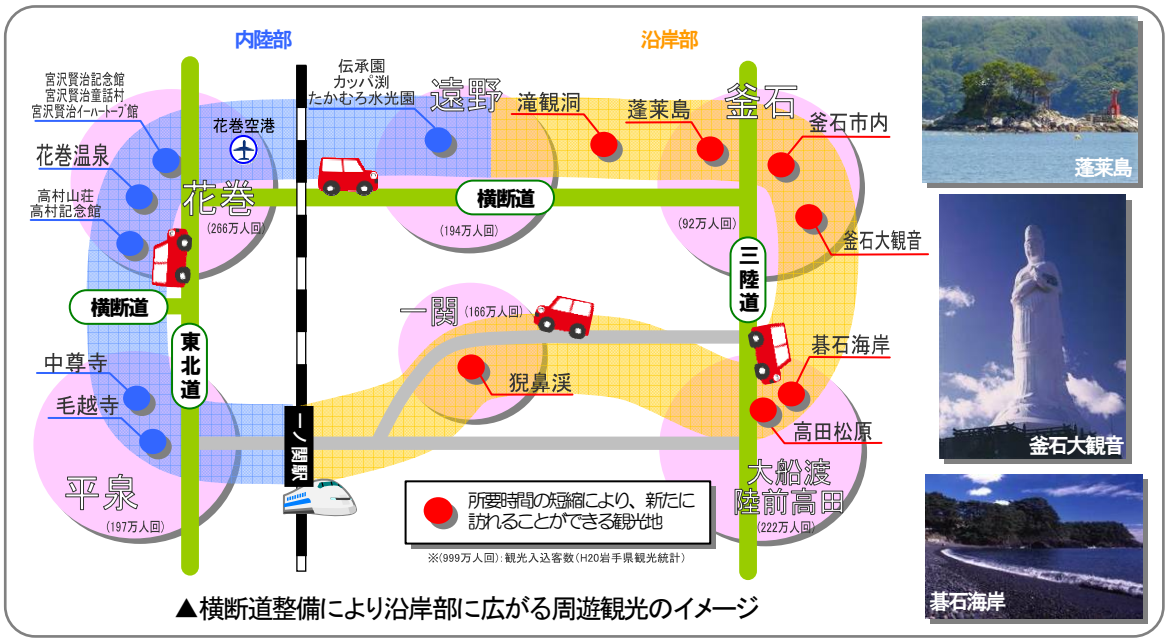
仙人峠道路開通時の効果が大きいことから、横断道供用時には、**更に大きな観光客呼び込み効果が期待**される。

釜石市　鮮魚店の声（仙人峠道路開通効果）

仙人峠道路開通前後では売上げが　15～20%増えています。開通後は**花巻、北上など国道４号沿いからのお客が増えました。**また、遠野からのお客が増えています。道路が良くなったので**冬でも多く来てくれるようになりました。**

資料：釜石市内鮮魚店へのヒアリング調査





▲横断道整備により沿岸部に広がる周遊観光のイメージ

事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（４／６）

4. 緊急輸送道路の信頼性確保

・国道 283 号は、岩手県緊急輸送道路網における１次路線に指定されているが、当区間には 3 箇所の防災点検要対策（未対策）箇所が存在。

・上記の箇所が災害等により通行止めとなった場合、花巻市から釜石市へは国道 106 号の迂回路が想定され、約 2 倍の所要時間、走行距離となる。

・また、岩手県第３次地震防災緊急事業五箇年計画において、沿岸で地震津波災害が発生した場合、後方支援拠点施設として遠野市が位置づけられている。

・遠野～宮守の整備により、災害時における緊急輸送道路としての信頼性の向上が期待される。



▲並行現道区間の防災対策未対策箇所と釜石市～花巻市間の通常時・迂回ルート比較

地震・津波災害における後方支援拠点施設整備（遠野市）



▲総合防災センターイメージ図



▲遠野市の地理的概要及び支援部隊経路計画

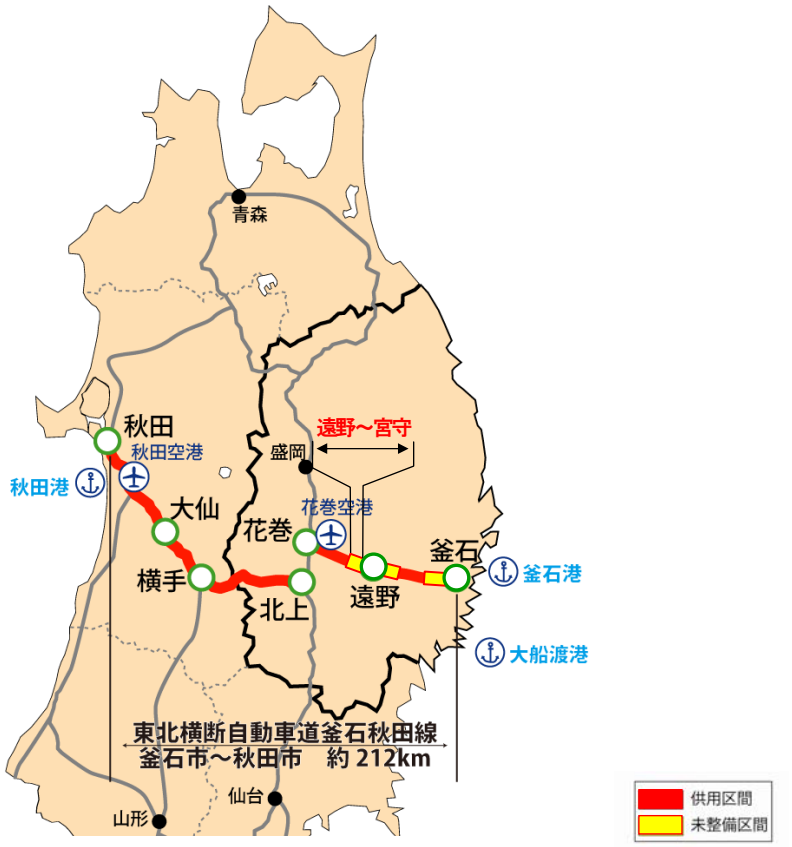
事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化（５／６）

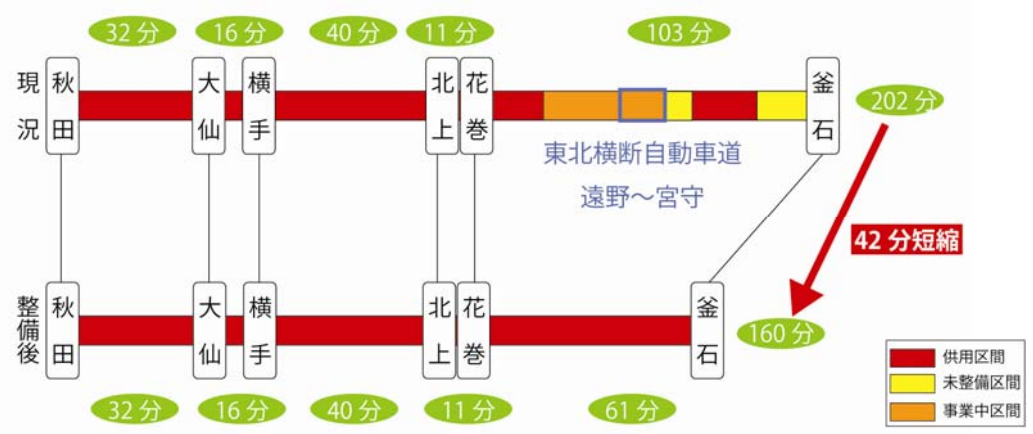
5. 高規格幹線道路ネットワークの構築

・東北横断自動車道釜石秋田線は、北東北の日本海沿岸と太平洋沿岸を結ぶ唯一の高規格幹線道路であるが、遠野～宮守間を含む釜石市～花巻市間で未供用区間が存在。

・東北横断自動車道釜石秋田線の未供用区間が全線整備されることで、岩手県と秋田県の有機的な連携が図られ、両県全域の産業経済の発展が期待されている。



▲東北横断自動車道釜石秋田線のネットワーク（平成 22 年 4 月現在）



※ 現況：2008 年（平成 19 年）時点の道路ネットワーク
整備後：釜石 IC～東和 IC まで東北横断自動車釜石秋田線全線整備時

▲釜石市～秋田市間の所要時間

資料：07-08 道路時刻表

事業の必要性等に関する視点	事業を巡る社会経済情勢等の変化（６／６）

〇環境影響評価への対応

・環境影響評価実施要綱（昭和 59 年閣議決定）等に基づき、平成 8 年度に環境影響評価を実施。
・予測評価の結果、大気質、騒音、動物、植物等いずれも環境保全目標を満足している。
・事業実施にあたり、専門家等の助言を踏まえ、オオタカの営巣の保全、児童の協力を得てサクラソウ、ツルフジバカマの移植を行い、工事実施による周辺環境への低減を図っている。

〇事業採択時より再評価実施までの周辺環境等の変化

・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

事業の必要性等に関する視点

費用便益比（B／C）

○費用便益比（B／C）

※下表の数値は、基準年（平成２２年度）における現在価値換算した金額を記載。

計画交通量（平成４２年度）　・遠野（とおの）～宮守（みやもり）間＝　１３，３００　台/日

【全　線】

	基本ケース	感度分析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		＋10%	－10%	＋10%	－10%	＋20%	－20%
費用Ｃ（現在価値）	***231***	***231***	***231***	***252***	***210***	***229***	***241***
事　業　費(億円)	211	211	211	233	190	211	219
維持修繕費(億円)	19	19	19	20	20	17	22
便益Ｂ（現在価値）	***374***	***411***	***336***	***374***	***374***	***325***	***492***
走行時間短縮便益(億円)	243	267	219	243	243	211	279
走行経費減少便益(億円)	91	101	82	91	91	80	105
交通事故減少便益(億円)	39	43	35	39	39	34	45
費用便益費　B／C	***1．6***	***1．8***	***1．5***	***1．5***	***1．8***	***1．4***	***1．8***

【残事業】

	基本ケース	感度分析					
		交通量変動		事業費変動		事業期間変動	
		＋10%	－10%	＋10%	－10%	＋20%	－20%
費用Ｃ（現在価値）	***153***	***153***	***153***	***166***	***139***	***152***	***155***
事　業　費(億円)	133	133	133	147	120	133	134
維持修繕費(億円)	19	19	19	20	20	19	20
便益Ｂ（現在価値）	***374***	***411***	***336***	***374***	***374***	***357***	***391***
走行時間短縮便益(億円)	243	267	219	243	243	232	254
走行経費減少便益(億円)	91	101	82	91	91	87	96
交通事故減少便益(億円)	39	43	35	39	39	37	41
費用便益費　B／C	***2．4***	***2．7***	***2．2***	***2．2***	***2．7***	***2．3***	***2．5***

○純現在価値（ＮＰＶ）　【全線】　１４３億円　【残事業】２２１億円

○経済的内部収益率（ＥＩＲＲ）　【全線】　７．０%　【残事業】１１．７%

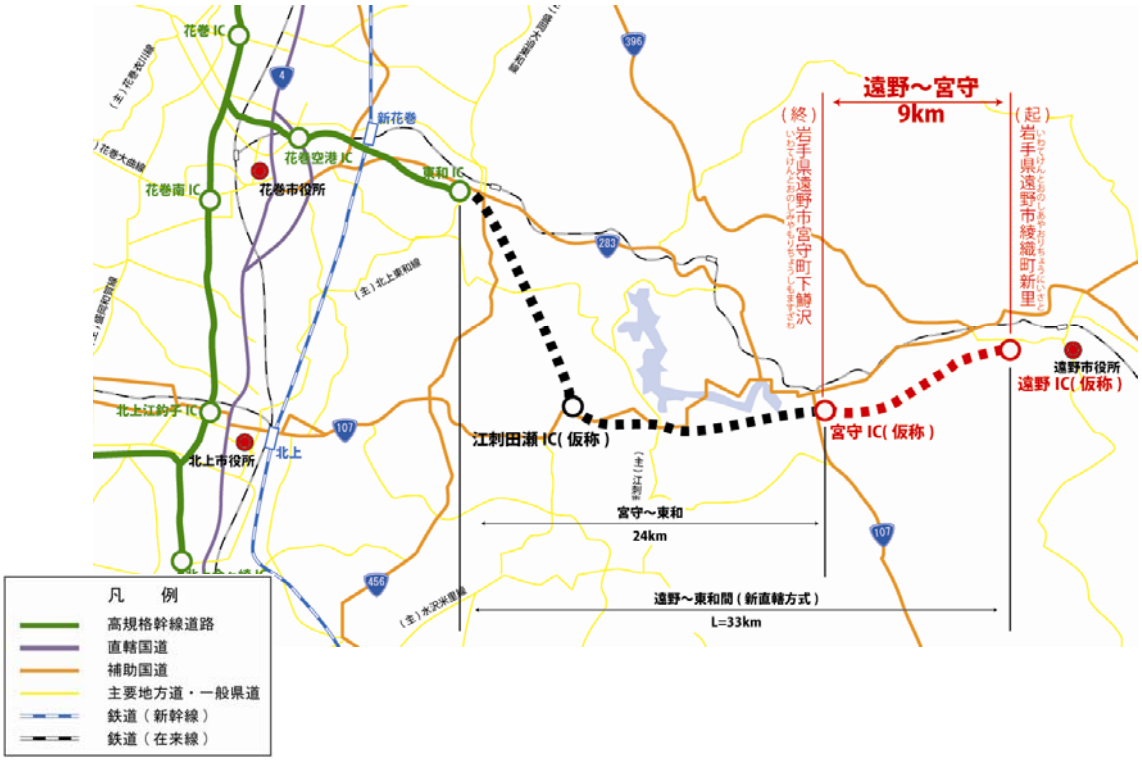
事業の見込みの視点

事業の進捗状況について

事業進捗に係る問題はない。

供用予定等今後の事業の見通し

・遠野(とおの)IC～宮守(みやもり)IC(L=9km)について、早期の供用を目指す。



コスト縮減や代替案の立案等の可能性の視点

コスト縮減のメニュー

・工期短縮に効果的で経済的なプレキャスト長尺製品を使用し、コスト縮減を図る。

・再生資材（再生砕石、アスファルト合材等）を活用し、コスト縮減を図る。

地方公共団体等の意見	岩手県知事の意見 １　事業の継続に異議はありません。 ２　本事業は集積が加速化する自動車関連産業などが立地する北上・金ケ崎の工業団地と重要港湾釜石港を結び、陸と海との円滑な物流ネットワークを構築する重要な事業であり、本県の基幹産業であるものづくり産業の支援や内陸と沿岸の交流連携の促進を図るため、早期完成に努めていただきたい。 ３　なお、事業実施に当たっては、一層のコスト削減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。 以下の団体等から、東北横断自動車道釜石秋田線の整備促進について要望がある。 〇岩手県（知事） 〇東北横断自動車道釜石秋田線、釜石・花巻間建設促進期成同盟会 （花巻市、釜石市、遠野市、奥州市、住田町） 〇釜石自動車道利用促進協議会（遠野市、花巻市、釜石市、奥州市、住田町） 〇北上川流域地域産業活性化協議会（北上市、住田町）
対応方針	原案　事業継続 （理由） 高規格幹線道路ネットワークを形成し東北地方北部の太平洋側と日本海側との交流・連携の促進と共に、物流効率化の支援や緊急輸送道路としての信頼性向上及び地域医療サービスの向上等早期整備の必要性が高い。 また、地元自治体からの事業促進要望活動も強く行われている。

資　料　５－２

道路事業 再評価
東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～宮守）

平成２２年１０月２６日
国土交通省　東北地方整備局

様式－２

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
東北横断道	遠野～宮守	9.0km	新直轄	ＢＰ

計画交通量（台/日）	車線数	事業主体
13,300	2	東北地方整備局

① 費　用

	事　業　費	維持管理費	合　　計
基 準 年	平成22年度		
単純合計	226億円	55億円	281億円
うち残事業分	153億円	55億円	208億円
基準年における現在価値（Ｃ）	211億円	19億円	231億円
うち残事業分	133億円	19億円	153億円

② 便　益

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	合　　計
基 準 年	平成22年度			
供 用 年	平成28年度			
単年便益（初年便益）	15億円	5.8億円	2.5億円	24億円
基準年における現在価値（Ｂ）	243億円	91億円	39億円	374億円
うち残事業分	243億円	91億円	39億円	374億円

③ 結　果

費用便益比（事業全体）	1.6
経済的純現在価値（事業全体）	143億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.0%
費用便益比（残事業）	2.4
経済的純現在価値（残事業）	221億円
経済的内部収益率（残事業）	11.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 （残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（Ｂ／Ｃ）
交通量	13,300	±10%	2.2～2.7
事業費	153億円	±10%	2.2～2.7
事業期間	5年	±20%	2.3～2.5

様式－３①

交通状況の変化

事業名：東北横断自動車道　遠野～宮守　（全体事業・残事業）

（推計時点　　H42年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路［バイパス等］：9.0km		交通量※1	[台/日]	0	13,300
		走行時間※2	[分]	0	8
		走行時間費用※3	[億円/年]	0.00	18.85
②主な周辺道路※4	現道（国道107号）：10.5km	交通量	[台/日]	10,200	1,400
		走行時間	[分]	22	14
		走行時間費用	[億円/年]	40.86	3.56
	国道283号：7.2km	交通量	[台/日]	10,400	600
		走行時間	[分]	14	10
		走行時間費用	[億円/年]	26.86	1.01
	国道396号：5.8km	交通量	[台/日]	2,000	800
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	3.26	1.20
③その他道路合計：3726.03km		走行時間費用	[億円/年]	6,393.22	6,425.48

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A － B)
合計3758.53km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,464.20	6,450.10	14.10

※１：　当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

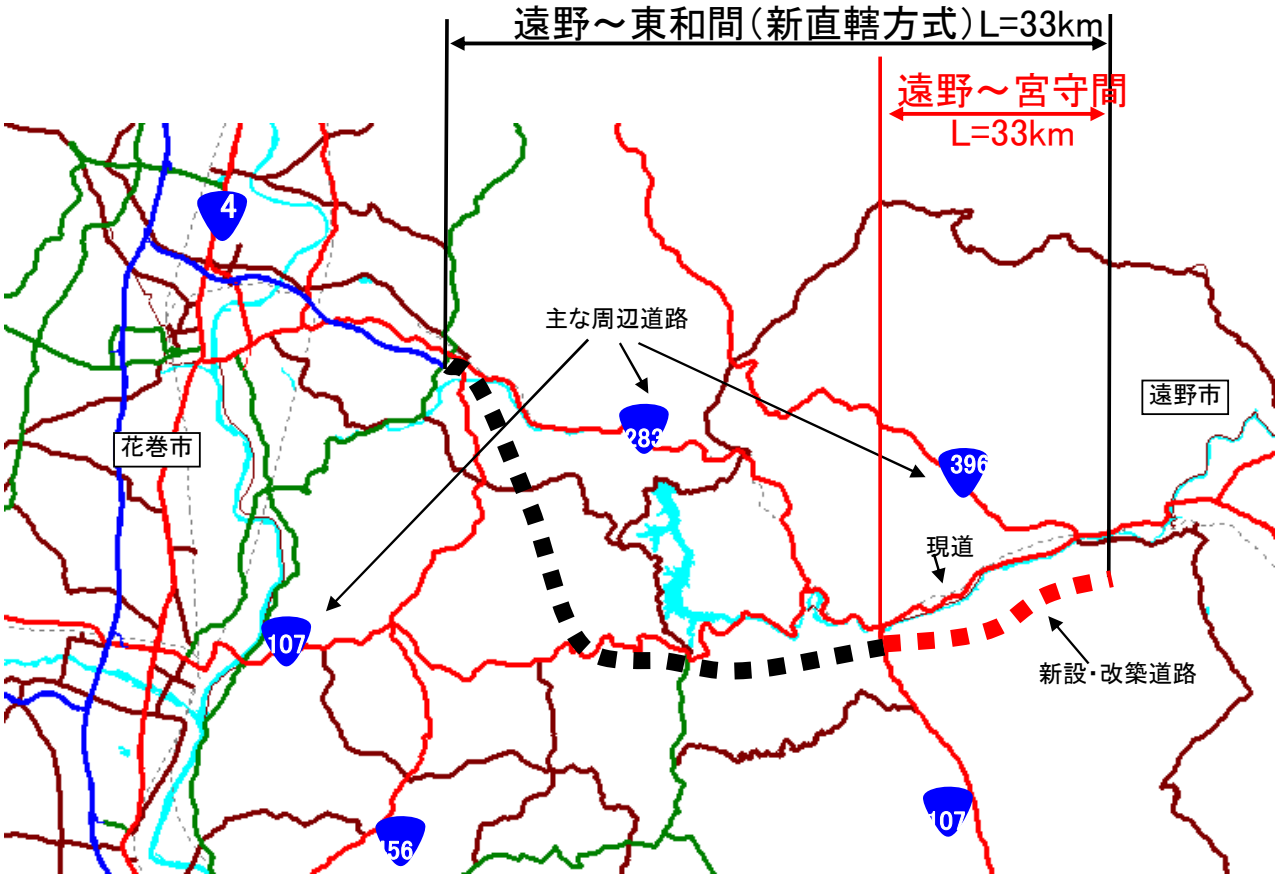
※２：　配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※３：　費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※４：　当該事業により大きな変化が生じる道路について３～５路線程度以内で記載する。

※５：　②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

（２） 図面（①、②に該当する道路を明示すること）



様式－３②

費用便益分析の条件

事業名：東北横断道 遠野～宮守

（2）

項目				チェック欄
算出マニュアル		費用便益分析マニュアル （平成20年11月　国土交通省　道路局　都市・地域整備局）		■
		その他		□
分析の基本的事項		分析対象期間		50年
		社会的割引率		4%
		基準年次		平成22年
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計		■（H42）
		複数時点での推計		□
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計		■
		整備の有無のいずれかのみ推計		□ 有　□ 無
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	H17道路交通センサスをベースとした自動車OD表 （三段階推定法）		■ （H17センサス）
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 （四段階推定法）		□
		その他（　　）		□
	開発交通量の考慮	無		■
		有		□
		有の場合のみ	考慮した開発交通量（トリップ数）	（　）台ﾄﾘｯﾌﾟ／日
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		□
		転換率式を用いた配分		□
		Q－V式と転換率式の併用による配分		■
		均衡配分（リンクパフォーマンス関数を用いた配分）		□
		簡易手法		□
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	□
			山間部海岸部で併行道路が少ない	□
			その他（　　）	
		簡易手法の考え方（将来交通量の設定方法等）		
		その他（　　）		□
	速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		■
		採用理由を記載	交通量が、交通容量（Qmax～Qmin）以上の路線、交通容量（Qmin～Qmax）の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
		最終配分の速度		□
		採用理由を記載		
		その他（　　）		□

事業名：東北横断道 遠野～宮守

（3）

項目				チェック欄
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	面的に考慮	□
			対象路線のみ考慮	□
			採用した休日係数	（　　）%
			休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	（　　）日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
			とり止め交通を考慮する	□
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	
	冬期交通の影響	考慮しない		■
		考慮する		□
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数	（　　）日
			採用した冬期日数の考え方を記載	
			冬期の走行速度と交通容量の関係	
			設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定		■
		その他（　　）		□
	車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		■
		独自に設定した値を使用		□
	交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮		■
		中央分離帯の有無を考慮しない		□
	走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない		■
		考慮する		□
	その他			

事業名：東北横断道 遠野～宮守

（4）

項目			チェック欄
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	■
		標準投資パターンを採用	□
		その他（　　）	□
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 東北地方整備局管内直轄路線の1kmあたりの平均単価（実績値）を使用	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	■
	その他		

4．その他

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.129	9.0	1.16

箇所名：東北横断道 遠野～宮守(全体事業)

年次	年度	割戻率	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	事業費(億円) 単純価値	事業費(億円) 現在価値	維持管理費(億円) 単純価値	維持管理費(億円) 現在価値
-13年目	H 15	1.3159	95.4	1.56	1.96		
-12年目	H 16	1.2653	94.4	3.04	3.72		
-11年目	H 17	1.2167	93.2	3.04	3.62		
-10年目	H 18	1.1699	92.5	3.71	4.28		
-9年目	H 19	1.1249	91.7	4.44	4.97		
-8年目	H 20	1.0816	91.3	24.77	26.79		
-7年目	H 21	1.0400	91.3	26.62	27.68		
-6年目	H 22	1.0000	91.3	6.19	6.19		
-5年目	H 23	0.9615	91.3	5.13	4.93		
-4年目	H 24	0.9246	91.3	29.47	27.25		
-3年目	H 25	0.8890	91.3	36.85	32.76		
-2年目	H 26	0.8548	91.3	44.83	38.32		
-1年目	H 27	0.8219	91.3	36.54	30.03		
供用開始年次	H 28	0.7903	91.3			1.10	0.87
1年目	H 29	0.7599	91.3			1.10	0.84
2年目	H 30	0.7307	91.3			1.10	0.80
3年目	H 31	0.7026	91.3			1.10	0.77
4年目	H 32	0.6756	91.3			1.10	0.74
5年目	H 33	0.6496	91.3			1.10	0.71
6年目	H 34	0.6246	91.3			1.10	0.69
7年目	H 35	0.6006	91.3			1.10	0.66
8年目	H 36	0.5775	91.3			1.10	0.64
9年目	H 37	0.5553	91.3			1.10	0.61
10年目	H 38	0.5339	91.3			1.10	0.59
11年目	H 39	0.5134	91.3			1.10	0.56
12年目	H 40	0.4936	91.3			1.10	0.54
13年目	H 41	0.4746	91.3			1.10	0.52
14年目	H 42	0.4564	91.3			1.10	0.50
15年目	H 43	0.4388	91.3			1.10	0.48
16年目	H 44	0.4220	91.3			1.10	0.46
17年目	H 45	0.4057	91.3			1.10	0.45
18年目	H 46	0.3901	91.3			1.10	0.43
19年目	H 47	0.3751	91.3			1.10	0.41
20年目	H 48	0.3607	91.3			1.10	0.40
21年目	H 49	0.3468	91.3			1.10	0.38
22年目	H 50	0.3335	91.3			1.10	0.37
23年目	H 51	0.3207	91.3			1.10	0.35
24年目	H 52	0.3083	91.3			1.10	0.34
25年目	H 53	0.2965	91.3			1.10	0.33
26年目	H 54	0.2851	91.3			1.10	0.31
27年目	H 55	0.2741	91.3			1.10	0.30
28年目	H 56	0.2636	91.3			1.10	0.29
29年目	H 57	0.2534	91.3			1.10	0.28
30年目	H 58	0.2437	91.3			1.10	0.27
31年目	H 59	0.2343	91.3			1.10	0.26
32年目	H 60	0.2253	91.3			1.10	0.25
33年目	H 61	0.2166	91.3			1.10	0.24
34年目	H 62	0.2083	91.3			1.10	0.23
35年目	H 63	0.2003	91.3			1.10	0.22
36年目	H 64	0.1926	91.3			1.10	0.21
37年目	H 65	0.1852	91.3			1.10	0.20
38年目	H 66	0.1780	91.3			1.10	0.20
39年目	H 67	0.1712	91.3			1.10	0.19
40年目	H 68	0.1646	91.3			1.10	0.18
41年目	H 69	0.1583	91.3			1.10	0.17
42年目	H 70	0.1522	91.3			1.10	0.17
43年目	H 71	0.1463	91.3			1.10	0.16
44年目	H 72	0.1407	91.3			1.10	0.15
45年目	H 73	0.1353	91.3			1.10	0.15
46年目	H 74	0.1301	91.3			1.10	0.14
47年目	H 75	0.1251	91.3			1.10	0.14
48年目	H 76	0.1203	91.3			1.10	0.13
49年目	H 77	0.1157	91.3	-9.97	-1.15	1.10	0.13
合　計				216.22	211.37	55.00	19.42

単純事業費計	226.19	55.00

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－４

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.129	9.0	1.16

箇所名：東北横断道 遠野～宮ｳ(残事業)

年次	年度	割戻率	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-5年目	H 23	0.9615	91.3	5.13	4.93		
-4年目	H 24	0.9246	91.3	29.47	27.25		
-3年目	H 25	0.8890	91.3	36.85	32.76		
-2年目	H 26	0.8548	91.3	44.83	38.32		
-1年目	H 27	0.8219	91.3	36.54	30.03		
供用開始年次	H 28	0.7903	91.3			1.10	0.87
1年目	H 29	0.7599	91.3			1.10	0.84
2年目	H 30	0.7307	91.3			1.10	0.80
3年目	H 31	0.7026	91.3			1.10	0.77
4年目	H 32	0.6756	91.3			1.10	0.74
5年目	H 33	0.6496	91.3			1.10	0.71
6年目	H 34	0.6246	91.3			1.10	0.69
7年目	H 35	0.6006	91.3			1.10	0.66
8年目	H 36	0.5775	91.3			1.10	0.64
9年目	H 37	0.5553	91.3			1.10	0.61
10年目	H 38	0.5339	91.3			1.10	0.59
11年目	H 39	0.5134	91.3			1.10	0.56
12年目	H 40	0.4936	91.3			1.10	0.54
13年目	H 41	0.4746	91.3			1.10	0.52
14年目	H 42	0.4564	91.3			1.10	0.50
15年目	H 43	0.4388	91.3			1.10	0.48
16年目	H 44	0.4220	91.3			1.10	0.46
17年目	H 45	0.4057	91.3			1.10	0.45
18年目	H 46	0.3901	91.3			1.10	0.43
19年目	H 47	0.3751	91.3			1.10	0.41
20年目	H 48	0.3607	91.3			1.10	0.40
21年目	H 49	0.3468	91.3			1.10	0.38
22年目	H 50	0.3335	91.3			1.10	0.37
23年目	H 51	0.3207	91.3			1.10	0.35
24年目	H 52	0.3083	91.3			1.10	0.34
25年目	H 53	0.2965	91.3			1.10	0.33
26年目	H 54	0.2851	91.3			1.10	0.31
27年目	H 55	0.2741	91.3			1.10	0.30
28年目	H 56	0.2636	91.3			1.10	0.29
29年目	H 57	0.2534	91.3			1.10	0.28
30年目	H 58	0.2437	91.3			1.10	0.27
31年目	H 59	0.2343	91.3			1.10	0.26
32年目	H 60	0.2253	91.3			1.10	0.25
33年目	H 61	0.2166	91.3			1.10	0.24
34年目	H 62	0.2083	91.3			1.10	0.23
35年目	H 63	0.2003	91.3			1.10	0.22
36年目	H 64	0.1926	91.3			1.10	0.21
37年目	H 65	0.1852	91.3			1.10	0.20
38年目	H 66	0.1780	91.3			1.10	0.20
39年目	H 67	0.1712	91.3			1.10	0.19
40年目	H 68	0.1646	91.3			1.10	0.18
41年目	H 69	0.1583	91.3			1.10	0.17
42年目	H 70	0.1522	91.3			1.10	0.17
43年目	H 71	0.1463	91.3			1.10	0.16
44年目	H 72	0.1407	91.3			1.10	0.15
45年目	H 73	0.1353	91.3			1.10	0.15
46年目	H 74	0.1301	91.3			1.10	0.14
47年目	H 75	0.1251	91.3			1.10	0.14
48年目	H 76	0.1203	91.3			1.10	0.13
49年目	H 77	0.1157	91.3	-0.59	-0.07	1.10	0.13
合　計				152.23	133.22	55.00	19.42

単純事業費計	152.82	55.00

注1）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、
必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として
評価を実施。）

注2）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

様式－５

便益の現在価値算定表

箇所名：東北横断道 遠野～宮守　（全体事業・残事業）

年次	年度（基準年）	総走行台キロの年次別伸び率（北東北ﾌﾞﾛｯｸ）			割戻率	GDP ﾃﾞﾌﾚｰﾀ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合　計（億円）	
		乗用車類	貨物車類	全　車	(A)		乗用車類	小型貨物	普通貨物	①　計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②　計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 ((①～③))	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H　28	0.99420	0.99229	0.99360	0.7903	91.3	9.63	3.39	2.40	15.42	12.19	3.01	0.78	1.99	5.77	4.56	2.51	1.98	23.70	18.73
1年目	H　29	0.99417	0.99223	0.99355	0.7599	91.3	9.58	3.36	2.38	15.32	11.64	2.99	0.77	1.97	5.73	4.36	2.49	1.89	23.55	17.89
2年目	H　30	0.99413	0.99216	0.99351	0.7307	91.3	9.52	3.33	2.37	15.22	11.12	2.98	0.76	1.96	5.70	4.16	2.47	1.81	23.39	17.09
3年目	H　31	0.99410	0.99210	0.99347	0.7026	91.3	9.47	3.31	2.35	15.12	10.62	2.96	0.76	1.94	5.66	3.97	2.46	1.73	23.23	16.32
4年目	H　32	0.99406	0.99204	0.99343	0.6756	91.3	9.41	3.28	2.33	15.02	10.15	2.94	0.75	1.93	5.62	3.80	2.44	1.65	23.08	15.59
5年目	H　33	0.99352	0.99451	0.99383	0.6496	91.3	9.35	3.26	2.32	14.93	9.70	2.92	0.75	1.92	5.58	3.63	2.43	1.58	22.94	14.90
6年目	H　34	0.99348	0.99448	0.99379	0.6246	91.3	9.29	3.24	2.30	14.83	9.27	2.90	0.74	1.90	5.55	3.47	2.41	1.51	22.79	14.24
7年目	H　35	0.99344	0.99445	0.99375	0.6006	91.3	9.23	3.23	2.29	14.74	8.85	2.88	0.74	1.89	5.52	3.31	2.40	1.44	22.65	13.61
8年目	H　36	0.99339	0.99441	0.99371	0.5775	91.3	9.17	3.21	2.28	14.65	8.46	2.86	0.73	1.88	5.48	3.17	2.38	1.37	22.51	13.00
9年目	H　37	0.99335	0.99438	0.99367	0.5553	91.3	9.10	3.19	2.26	14.56	8.08	2.85	0.73	1.87	5.45	3.03	2.37	1.31	22.37	12.42
10年目	H　38	0.99330	0.99435	0.99363	0.5339	91.3	9.04	3.17	2.25	14.47	7.72	2.83	0.73	1.86	5.42	2.89	2.35	1.25	22.23	11.87
11年目	H　39	0.99326	0.99432	0.99359	0.5134	91.3	8.98	3.15	2.24	14.38	7.38	2.81	0.72	1.85	5.38	2.76	2.34	1.20	22.09	11.34
12年目	H　40	0.99321	0.99429	0.99355	0.4936	91.3	8.92	3.14	2.23	14.28	7.05	2.79	0.72	1.84	5.35	2.64	2.32	1.15	21.95	10.84
13年目	H　41	0.99317	0.99425	0.99351	0.4746	91.3	8.86	3.12	2.21	14.19	6.74	2.77	0.71	1.83	5.31	2.52	2.31	1.09	21.81	10.35
14年目	H　42	0.99312	0.99422	0.99347	0.4564	91.3	8.80	3.10	2.20	14.10	6.44	2.75	0.71	1.82	5.28	2.41	2.29	1.05	21.67	9.89
15年目	H　43	0.98924	0.99793	0.99198	0.4388	91.3	8.71	3.09	2.20	13.99	6.14	2.72	0.71	1.82	5.25	2.30	2.27	1.00	21.51	9.44
16年目	H　44	0.98912	0.99793	0.99192	0.4220	91.3	8.61	3.09	2.19	13.89	5.86	2.69	0.71	1.81	5.21	2.20	2.25	0.95	21.35	9.01
17年目	H　45	0.98900	0.99793	0.99185	0.4057	91.3	8.52	3.08	2.19	13.78	5.59	2.66	0.71	1.81	5.18	2.10	2.23	0.91	21.19	8.60
18年目	H　46	0.98888	0.99792	0.99178	0.3901	91.3	8.42	3.07	2.18	13.68	5.34	2.63	0.70	1.80	5.14	2.01	2.22	0.86	21.03	8.21
19年目	H　47	0.98875	0.99792	0.99172	0.3751	91.3	8.33	3.07	2.18	13.57	5.09	2.60	0.70	1.80	5.11	1.92	2.20	0.82	20.88	7.83
20年目	H　48	0.98863	0.99791	0.99165	0.3607	91.3	8.23	3.06	2.17	13.47	4.86	2.57	0.70	1.80	5.07	1.83	2.18	0.79	20.72	7.47
21年目	H　49	0.98849	0.99791	0.99158	0.3468	91.3	8.14	3.06	2.17	13.36	4.63	2.54	0.70	1.79	5.04	1.75	2.16	0.75	20.56	7.13
22年目	H　50	0.98836	0.99790	0.99150	0.3335	91.3	8.04	3.05	2.16	13.25	4.42	2.51	0.70	1.79	5.00	1.67	2.14	0.71	20.40	6.80
23年目	H　51	0.98822	0.99790	0.99143	0.3207	91.3	7.95	3.04	2.16	13.15	4.22	2.48	0.70	1.79	4.97	1.59	2.12	0.68	20.24	6.49
24年目	H　52	0.98808	0.99790	0.99136	0.3083	91.3	7.85	3.04	2.15	13.04	4.02	2.45	0.70	1.78	4.93	1.52	2.11	0.65	20.08	6.19
25年目	H　53	0.98794	0.99789	0.99128	0.2965	91.3	7.76	3.03	2.15	12.94	3.84	2.42	0.69	1.78	4.90	1.45	2.09	0.62	19.92	5.91
26年目	H　54	0.98779	0.99789	0.99120	0.2851	91.3	7.66	3.02	2.15	12.83	3.66	2.39	0.69	1.77	4.86	1.39	2.07	0.59	19.76	5.63
27年目	H　55	0.98764	0.99788	0.99113	0.2741	91.3	7.57	3.02	2.14	12.73	3.49	2.37	0.69	1.77	4.83	1.32	2.05	0.56	19.60	5.37
28年目	H　56	0.98749	0.99788	0.99105	0.2636	91.3	7.47	3.01	2.14	12.62	3.33	2.34	0.69	1.77	4.79	1.26	2.03	0.54	19.45	5.13
29年目	H　57	0.98733	0.99787	0.99097	0.2534	91.3	7.38	3.00	2.13	12.52	3.17	2.31	0.69	1.76	4.76	1.21	2.01	0.51	19.29	4.89
30年目	H　58	0.98717	0.99787	0.99088	0.2437	91.3	7.28	3.00	2.13	12.41	3.02	2.28	0.69	1.76	4.72	1.15	2.00	0.49	19.13	4.66
31年目	H　59	0.98700	0.99786	0.99080	0.2343	91.3	7.19	2.99	2.12	12.30	2.88	2.25	0.69	1.76	4.69	1.10	1.98	0.46	18.97	4.44
32年目	H　60	0.98683	0.99786	0.99072	0.2253	91.3	7.10	2.98	2.12	12.20	2.75	2.22	0.68	1.75	4.65	1.05	1.96	0.44	18.81	4.24
33年目	H　61	0.98665	0.99785	0.99063	0.2166	91.3	7.00	2.98	2.11	12.09	2.62	2.19	0.68	1.75	4.62	1.00	1.94	0.42	18.65	4.04
34年目	H　62	0.98647	0.99785	0.99054	0.2083	91.3	6.91	2.97	2.11	11.99	2.50	2.16	0.68	1.74	4.58	0.95	1.92	0.40	18.49	3.85
35年目	H　63	0.98629	0.99784	0.99045	0.2003	91.3	6.81	2.97	2.10	11.88	2.38	2.13	0.68	1.74	4.55	0.91	1.90	0.38	18.33	3.67
36年目	H　64	0.98610	0.99784	0.99036	0.1926	91.3	6.72	2.96	2.10	11.78	2.27	2.10	0.68	1.74	4.51	0.87	1.89	0.36	18.18	3.50
37年目	H　65	0.98590	0.99784	0.99026	0.1852	91.3	6.62	2.95	2.10	11.67	2.16	2.07	0.68	1.73	4.48	0.83	1.87	0.35	18.02	3.34
38年目	H　66	0.98570	0.99783	0.99017	0.1780	91.3	6.53	2.95	2.09	11.56	2.06	2.04	0.67	1.73	4.44	0.79	1.85	0.33	17.86	3.18
39年目	H　67	0.98549	0.99783	0.99007	0.1712	91.3	6.43	2.94	2.09	11.46	1.96	2.01	0.67	1.73	4.41	0.75	1.83	0.31	17.70	3.03
40年目	H　68	0.98528	0.99782	0.98997	0.1646	91.3	6.34	2.93	2.08	11.35	1.87	1.98	0.67	1.72	4.37	0.72	1.81	0.30	17.54	2.89
41年目	H　69	0.98506	0.99782	0.98987	0.1583	91.3	6.24	2.93	2.08	11.25	1.78	1.95	0.67	1.72	4.34	0.69	1.79	0.28	17.38	2.75
42年目	H　70	0.98483	0.99781	0.98977	0.1522	91.3	6.15	2.92	2.07	11.14	1.70	1.92	0.67	1.71	4.30	0.66	1.78	0.27	17.22	2.62
43年目	H　71	0.98460	0.99781	0.98966	0.1463	91.3	6.05	2.91	2.07	11.04	1.61	1.89	0.67	1.71	4.27	0.62	1.76	0.26	17.06	2.50
44年目	H　72	0.98436	0.99780	0.98955	0.1407	91.3	5.96	2.91	2.06	10.93	1.54	1.86	0.67	1.71	4.24	0.60	1.74	0.24	16.90	2.38
45年目	H　73	0.98411	0.99780	0.98944	0.1353	91.3	5.86	2.90	2.06	10.82	1.46	1.83	0.66	1.70	4.20	0.57	1.72	0.23	16.75	2.27
46年目	H　74	0.98385	0.99779	0.98933	0.1301	91.3	5.77	2.90	2.05	10.72	1.39	1.80	0.66	1.70	4.17	0.54	1.70	0.22	16.59	2.16
47年目	H　75	0.98359	0.99779	0.98921	0.1251	91.3	5.67	2.89	2.05	10.61	1.33	1.77	0.66	1.70	4.13	0.52	1.68	0.21	16.43	2.06
48年目	H　76	0.98331	0.99778	0.98910	0.1203	91.3	5.58	2.88	2.05	10.51	1.26	1.74	0.66	1.69	4.10	0.49	1.67	0.20	16.27	1.96
49年目	H　77	0.98303	0.99778	0.98898	0.1157	91.3	5.49	2.88	2.04	10.40	1.20	1.71	0.66	1.69	4.06	0.47	1.65	0.19	16.11	1.86
合　計							386.69	152.94	108.54	648.17	242.81	120.84	35.03	89.79	245.66	91.47	104.52	39.30	998.35	373.57

様式１　客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	東北横断自動車道　釜石秋田線　遠野～宮守
事業主体	東北地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指　　標
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指　標　（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）
１．活力	円滑なモビリティの確保	● 並行区間等の年間渋滞損失時間及び削減率
		□ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される
		■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる
		□ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる
	物流効率化の支援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる
		■ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通利便性向上が見込まれる
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である
		□ 三大都市圏の環状道路を形成する
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり
	国土・地域ネットワークの構築	■ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる
	個性ある地域の形成	□ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する
		■ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する
		□ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である
２．暮らし	安全で安心できるくらしの確保	□ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる
	安全な生活環境の確保	□ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる

３．安全	災害への備え	■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する
		□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する
		■ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する
４．環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量
	生活環境の改善・保全	○ 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率
		○ 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率
		□ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある
		□ その他、環境や景観上の効果が期待される
５．その他	他のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄとの関係	□ 他機関との連携プログラムに位置づけられている
		□ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる

東北地方整備局
企画第 89 号
平成22年10月21日

県　整　第２６２号
平成２２年１０月２０日

東北地方整備局長　様

岩手県知事　達増　拓也

東北地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成２２年１０月１４日付け国東整企画第８５号により依頼のありました標記について、下記のとおり意見を提出します。

記

（再評価）

【道路事業】

事業名	意　見
一般国道４号 石鳥谷バイパス事業	1　事業の継続に異議はありません。 2　本事業は、花巻～盛岡間で唯一残っている２車線区間の４車線化を図るものであり、石鳥谷地区の交通混雑の緩和や安全確保を図るため、早期の完成をお願いしたい。 3　なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。
一般国道４号 渋民バイパス事業	1　事業の継続に異議はありません。 2　本事業は、国道４号の機能強化と現道の交通安全確保を図る事業であることから、着実な整備の推進を図り、早期の全線供用に努めていただきたい。 3　なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。
一般国道４５号 尾肝要道路事業	1　事業の継続に異議はありません。 2　本地区は、国道45号の最高標高を通過し、急勾配、急カーブが連続する国道45号の最大の隘路区間となっています。 本事業は、現道のトンネル化により、田野畑村から第三次救急医療施設である県立久慈病院へのアクセスの向上を図るとともに、円滑な交通を確保する効果の高い事業であり、用地買収も全て完了し、トンネル工事の着手に向けた環境は整っていることから、救急医療支援や物流の促進を図るため、本事業の早期完成を図っていただきたい。 また、本事業には、津波が発生した場合の通行止めによる大きな社会的損失の解消や、救急医療における効果など、現行の便益には計上されない定量的な効果も存在することから、そうした視点も加え、総合的に評価する必要があると考えています。 3　なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

事業名	意　見
一般国道４５号 普代バイパス事業	1　事業の継続に異議はありません。 2　本事業は、発生確率の高まっている宮城県沖地震による津波に対する信頼性の確保や、普代村や田野畑村から第三次救急医療施設である県立久慈病院への救急搬送を支援する事業であり、尾肝要道路と一体となった本事業の完成により、田野畑村からの県立久慈病院への60分圏域が達成されることから、救急医療支援や災害時における信頼性の高い道路の確保のため、早期完成を図っていただきたい。 また、本事業には、津波が発生した場合の通行止めによる大きな社会的損失の解消や、救急医療における効果など、現行の便益には計上されない定量的な効果も存在することから、そうした視点も加え、総合的に評価する必要があると考えています。 3　なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。
一般国道４６号 盛岡西バイパス事業	1　事業の継続に異議はありません。 2　本事業は、国道４号及び46号の交通混雑緩和、盛岡市の都市開発の誘導などを図るために重要な事業であることから、着実な整備の推進を図り、早期の全線供用に努めていただきたい。 3　なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。
東北横断自動車道 釜石秋田線　遠野～宮守	1　事業の継続に異議はありません。 2　本事業は、集積が加速化する自動車関連産業などが立地する北上・金ヶ崎の工業団地と重要港湾釜石港を結び、陸と海との円滑な物流ネットワークを構築する重要な事業であり、本県の基幹産業であるものづくり産業の支援や内陸と沿岸の交流連携の促進を図るため、早期完成に努めていただきたい。 3　なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

【港湾事業】

事業名	意　見
久慈港湾口地区防波堤整備事業 久慈港海岸直轄海岸保全施設整備事業	1　事業の継続に異議はありません。 2　本事業は、港湾背後地域の津波被害を防護するとともに、静穏度向上による避難泊地の確保により、沖合航行船舶の海難事故の減少が図られることから、着実な整備の推進をお願いしたい。 3　なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

事業名	意　見
宮古港竜神崎地区防波堤整備事業	1　事業の継続に異議はありません。 2　本事業は、出崎地区他の静穏度向上を図ることにより、航行船舶の安全性が確保されるとともに、観光・交流施設の利便性向上による地域活性化に寄与することから、着実な整備の推進をお願いしたい。 3　なお、事業実施に当たっては、一層のコスト縮減など、より効率的な事業推進に努められるようお願いしたい。

担当
県土整備部県土整備企画室
企画担当 [redacted]
電話 019-629-5846
FAX 019-629-9130